



シルバーだより

No. 390
令和5年9月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

みんなでバザーを成功させよう —

代表副理事長 箭内 忠義

荒川シルバー大学は今年度創立40周年を迎えました。これもひとえに皆様の御支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。40周年の今年は、創設、成長へとつなげてくださった方々への感謝とともに、現在学んでいる私たちの意欲を高め、さらに未来へと力強く前進する年でもあります。

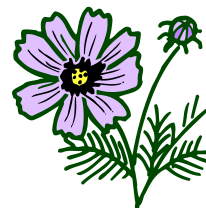
現在、シルバー大学のこれまでのあゆみを記念誌として作成する運びとなっております。記念誌作成の財源確保のため、私たちの力を合わせてバザーを開催しようとの計画に至りました。皆様にご協力をお願いしたいと思います。

バザーのやり方は二つあります。

一つは掲示用バザーです。1階の廊下の壁に品物などを写真又は文章で掲示します。誰でも出品できます。気に入ったものがあれば、すぐに申込み購入ができます。

二つ目は公開バザーです。

- ・日時 10月29日(日)午後1時～5時
10月30日(月)午前10時～午後3時です。
- ・場所 生涯学習センター 三階大会議室、
第三・第四・第五会議室です。



品物を出すのは、学生・私たちです。食べ物以外ならどんなものでも構いません。9月6日までに特定教室ごとにまとめて集約します。そして、全部の提供品をシルバー大学としてまとめ、会場の配置計画を作ります。

品物の持ち込みは10月29日(日)の午前中です。値段を自分で決めたい人は値段を書いてください。値段の希望がない品物はバザー担当者が決めます。

さて、バザー終了後、残ったものは、どうしますか。持ち帰りたい人は、出品者が持ち帰ります。持ち帰らないという品物は、シルバー大学からリサイクル業者に全てお渡しすることにいたしました。

バザーをみんなの力で成功させたいと願っています。品物を出品できなかった人は、バザーで買っていただくなり、バザーの宣伝をしていただけたらと思います。バザーのポスターを描いていただいたり、ポスターを掲示していただいたりするのも嬉しいことです。

バザー提供品リストに出していなくても、当日に出品できるものがあれば、会場に持ってきてください。使わせていただきます。歓迎します。

どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

《《 令和5年度 第1回合同講義 》》

5月22日 サンパール荒川3階 小ホール

●第一部 荒川区教育長 高梨博和先生

「荒川区あれこれ」と題して区民が関心をもっていることをクイズ形式でわかりやすくお話頂きました。

●第二部 「ことばとメロディを花束にして」

朗読教室講師：池田洋子先生 ピアノ：シンガーソングライター 三浦鯉登先生
最初に「へいわとせんそう」というタイトルの絵本(谷川俊太郎作、Noritake 絵)の朗読から始まり、言葉は短いのですが平和の大切さを強く訴える内容でした。

次は「昔の話っこ語りましょ」と題して“神様がくれた寿命”と“果て無しばなし”を”ちゃんちゃんこ“ 姿で方言を交えてユーモラスにお話いただき、先生の話術に皆癒されました。

最後に「藤十郎の恋(菊池寛作)」。前説を岡田芳子理事長がお話下さり、いよいよ池田先生が緋色の衣装で登場。このお話は坂田藤十郎という歌舞伎役者と人妻であるお梶との恋物語というだけでなく、人間の愛情、芸に対する執念のようなものが感じられました。池田先生が登場人物それぞれの声を巧みに演じられ会場の皆さんも一緒に藤十郎の世界に引き込まれてしまいました。また、それぞれの場面を盛り上げる三浦先生のピアノも本当に素晴らしいと感激しました。

(朗読教室 志村 眞知子)



岡田理事長挨拶



高梨教育長講演



池田先生朗読



三浦先生演奏

《《 やっと咲いたグレープフルーツの花 》》

今から 50 年前、第八峡田小学校（今の生涯学習センター）に赴任しました。まだ東側に古い家が建ち並び、体育館が平屋でやはり東側にありました。昭和の雰囲気の色濃く残っていた時代です。

その年の冬、夫がスキーで骨折し、その時、保護者の方が当時珍しかったグレープフルーツをお見舞いにくださいました。その中の一つに種が根を伸ばしていたのがあったのです。面白がって早速植木鉢に植えてみました。結構元気に育って、15センチ程になったとき、丁度体育館が壊され、緑の小道が作られたので、そこに植え替えました。2本植えたのですが、邪魔にもされず、元気に育って今年とうとう花が咲いたのです。実生(みしょう)はなかなか花が咲かないと言われていたのですが、とうとうやったね、という感じがします。現在、小さな小さな実が一つの花から五つずつ見られるようになっていました。



(パステル・絵の具画教室代表 太田 諏訪子)

投稿

《《 思いがけぬ事故 》》

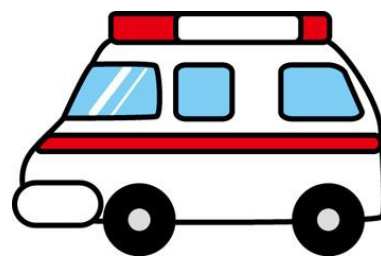
令和5年初の「本を楽しむ教室」が終了した1月6日金曜日、恒例のコーヒータイムの帰り道、日が短いせいもあり、辺りが薄暗くなりかけていたので、Sさんと2人タクシーで帰ろうと話し、明治通りに出るが1台も空車は来ず、仕方なく荒川区役所のバス停まで歩く。丁度5時7分のさくらバスが余り待たずに来たので、2人で乗り込み、Sさんは花の木橋停留所で降車。私は一つ先の町屋駅前に。棒につかまって立ったのは覚えているが、あとは床に転がり出血しているのでビックリ。

運転手さんが救急車を呼んでくれ、高校生位の女の子が新しいタオルがあるからと頭を押さえてくれた。ありがたいことに、東大に運ばれ処置をしてもらった。バス会社の人も待っていてくれて車で送って下さり、夜の10時頃に帰宅。

抜糸とCTの紹介状を持ち、近所の脳外科で1月16日に抜糸をしてもらおう。1ヶ月後にもう一度CTを撮って、何事もなければ終了するとのことであった。

転ばないようにあれ程気をつけていたつもりなのに 何故?…何故?…。

(本を楽しむ教室代表 市川 弘美)



※ 保険の請求に関しては追って別号に掲載します ※

